

平成 26 年度政策創造員会議について

平成 26 年 4 月 23 日
戦略企画部企画課

1. 目的

新しい三重づくりのための政策創造及び提言、政策創造員の政策創造能力の向上等を図ります。

2. 取組概要

調査・研究活動及び若手・中堅職員養成塾を二本柱として取り組めます。

(1) 政策創造員の指名

各部からの推薦職員 15 名、公募職員 9 名の計 24 名を政策創造員として指名しました。

(2) 調査・研究活動

中長期的かつ部局での取組が困難な課題を対象に、既存の枠にとらわれず幅広い視点から調査・研究に取り組むことを通じて、メンバーの政策創造能力の向上をめざします。(1 グループ 6 名、4 グループにて活動)

【年間スケジュール】

課題の検討	4～7月
中間報告	10月下旬(政策会議において報告)
最終報告	2月初旬(知事ほか幹部職員等の出席のもと開催)

(3) 若手・中堅職員養成塾

知事を塾長として、知事が選定した著名な専門家を講師に招いた講演会を 4 回、フューチャーセッションを 1 回開催します。

【年間スケジュール】

第 12 回	5 月 13 日(火)、6 月 25 日(水)	フューチャーセッション
第 13 回	8 月初旬	講演会(調整中)
第 14 回	9 月 4 日(木)	講演会(古市憲寿氏 社会学者)
第 15 回	11 月 6 日(木)	講演会(越直美氏 大津市長)
第 16 回	1 月 30 日(金)	講演会(調整中)

平成26年度政策創造員名簿

部 等 名	所 属	職 名	氏 名	グループ
防災対策部	防災対策総務課	主査	古澤 功次	1
戦略企画部	戦略企画総務課	主査	飛鳥井 清司	3
戦略企画部	企画課	主査	槇 寿美江	2
戦略企画部	情報公開課	主事	伊澤 孝幸	4
総務部	行財政改革推進課	主査	黒川 裕司	4
総務部	紀州県税事務所	主事	谷本 圭 (公)	3
健康福祉部	健康福祉総務課	主事	小林 裕司	1
環境生活部	環境生活総務課	主査	馬場 毅之	1
地域連携部	地域連携総務課	主幹 (班長代理)	西出 裕一	4
地域連携部	IT 推進課	主査	宮崎 浩成 (公)	3
地域連携部	IT 推進課	主事	武田 朱羽 (公)	1
地域連携部	市町行財政課	主事	村瀬 賢大 (公)	2
地域連携部	紀北地域活性化局	主事	河南 佑磨 (公)	4
農林水産部	農業戦略課	主査	北村 真理	4
農林水産部	担い手育成課	主査	石原 譲 (公)	1
農林水産部	津農林水産事務所	技師	山口 由美子 (公)	3
雇用経済部	雇用経済総務課	主事	久保 誠	3
雇用経済部	エネルギー政策課	主事	中村 友昭 (公)	2
県土整備部	道路企画課	主査	橋井 栄	2
出納局	会計支援課	主査	山下 智章	3
企業庁	財務管理課	主幹 (班長代理)	武田 敏治	2
病院事業庁	県立病院課	主査	伊藤 隆弘	1
教育委員会事務局	教育総務課	主査	川口 政樹	2
教育委員会事務局	北星高等学校	事務職員	服部 清人 (公)	4

【事務局】

竹内戦略企画部長、福田戦略企画部副部長

大橋企画課長、山本課長補佐兼班長、森主幹 (班長代理)、大迫主査

※ (公) : 公募枠職員 (9名)

※平均年齢 : 平成26年度 36.0歳 (平成25年度 39.1歳)

政策創造員による調査・研究活動結果の概要

1. ワーキンググループ1

テーマ	「生涯現役時代到来！高齢者 v s 若者の構図を回避せよ」
目的	○就労を希望する高齢者が若者の雇用を奪わずに、生涯現役で働ける新しい就労のあり方、仕組みを検討する。
調査内容	○三重県内における高齢化の状況 ○高齢者に求められる役割 ○県内における継続雇用の状況 ○高齢者雇用が若年者雇用に与える影響 ○高齢者雇用による労働生産性の低下 ○仮説検証及び課題解決に向けた県内企業、ハローワーク、シルバー人材センター、その他先進事例からの意見聴取・現地調査
提案	○「高齢者の活躍の場の拡大（積極的な企業開拓、起業支援）」、「高齢者と企業とのマッチング（専門相談員等によるきめ細かい支援）」、「高齢者のキャリアの再構築（セカンドキャリア等のための相談支援）」をワンストップで支援する「生涯現役応援センター（仮称）」の創設

2. ワーキンググループ2

テーマ	「R e B o r n～地域再生のための新しい地域経営手法の検討」
目的	○従来の地域活性化策等では対応しきれない限界集落やその周辺地域を対象として、今後ますます大きくなる市町の行政コスト等の軽減を図りつつ、大胆な地域再生を実現するため、従来の県や市町の役割を超えた新たな地域経営手法の検討を行う。
調査内容	○現行の再生策、過去の成功事例、失敗事例 ○さまざまな実施主体の強み・弱み ○地域再生に関する学識経験者、市町職員、条件不利地域出身県職員からの意見聴取 ○県内の優良事例や実質的な住民ゼロ地域の現地調査
提案	○対象集落の登録・指定、再生ビジョンの提示、集落と再生主体との橋渡し、権利の制限や規制の撤廃などの環境整備、情報発信・ブランド戦略を担う「地域再生プラットフォーム」の設置 ○「地域再生プラットフォーム」を活用した新たな地域再生策のアイデアの提示（【自然系再生策】「おいしく食べて獣害対策！ジビエ牧場でハンティング」、【ストック系再生策】「国内で異文化体験！国際人養成・体験村」、【社会系再生策】「豊かな自然を活かした受刑者の社会復帰と有機農業の里づくり」、【文化系再生策】「三重の伝統ふるさと村」）

3. ワーキンググループ3

テーマ	「仮想『伊勢国（いせのくに）』の創生と『平成のおかげ参り』の復活」
目的	○ “心の聖地”である『神宮』の本当の価値を理解するとともに、人生のあらゆる節目に人々が全国から『神宮』を訪れ、新たな気持ちで日々の日常に戻っていく新しい日本の文化＝『平成のおかげ参り文化』の醸成について検討する。
調査内容	○『神宮』の価値の明確化 ○過去のおかげ参りの状況 ○『神宮』と全国各地との繋がり ○『平成のおかげ参り文化』の定義付けや、実現するための仕組みを検討するための神宮崇敬会、県立博物館、皇學館大学への意見聴取
提案	○県民だけでなく全国の方々が幸せを実感できる日本の新しい文化『平成のおかげ参り文化』の醸成 ○『平成のおかげ参り文化』の醸成を図るための仕組みとしての「仮想『伊勢国（いせのくに）』」の設置と『伊勢国』版BID制度の導入、及び同国による4つの取組方向（「日本文化の継承、日本人のアイデンティティ・誇りの再確認」、「“心の聖地”を訪れたいと願う人々の営みの支援（平成版御師機能）」、「“心の聖地”を核とした、人と人との交流及び地域間の交流促進」、「県民生活の質の向上、県内地域の価値の向上」）

4. ワーキンググループ4

テーマ	「『限界集落』の幸せな幕引き」
目的	○人口減少が進む中で地域全体が活力を失っていくことを防ぎ、選択と集中により地域活性化を図るために必要となる諸課題を明確化し、具体的な方策を探る。
調査内容	○県内の人口・高齢化の状況 ○これまでの地域活性化策と集落移転・集落消滅事例の検証 ○集落対策の現状に関する市町職員、有識者への意見聴取
提案	○幕引きに向けたフロー 地域が持つポテンシャルの指標化 →集落維持コストと移転コストの確認 →該当集落へのコスト説明と集落点検の実施 →集落維持に向けた活性化の意思確認 ○幕引き策 ・既存メニューの活用と独自補助金の創設による移転の促進 ・集落の土地、建物の公有地化（行政による買収） ・集落移転対策としての空き家の活用 など

平成25年度 若手・中堅職員養成塾開催実績

【第7回】

日 時：平成25年5月10日（金）17時30分～19時

講 師：夕張市長 鈴木直道氏

テーマ：やらなきゃゼロ！

内 容：・夕張市長になった理由
・財政破綻とはどういうことか
・夕張市の取組について

参加者数：101名

【第8回】

日 時：平成25年7月12日（金）17時30分～19時

講 師：サイボウズ株式会社代表取締役 青野慶久氏

テーマ：子育ては未来と市場を創造する仕事～ワークスタイルの多様化とIT～

内 容：・二度の育児休暇から学んだこと
・ワークスタイルを多様化する取組
・組織を超えた「新しいチームワーク」とは？

参加者数：100名

【第9回】

日 時：平成25年9月9日（月）17時30分～19時

講 師：産婦人科医 宋美玄氏

テーマ：女性産婦人科医として伝えたいこと
～正しい知識の啓発と産み育てやすい環境づくりについて～

内 容：・男女の性、生殖～学校教育の落とし穴～
・仕事と育児の両立、産みやすい環境づくり
・産科医療のこれから

参加者数：121名

【第10回】

日 時：平成25年11月11日（月）17時30分～19時

講 師：熊本県くまもとブランド推進課長 成尾雅貴氏

テーマ：ゆるキャラから売るキャラへ～くまモンにみるブランド戦略～

- 内 容：
- ・「くまモン」の誕生
 - ・くまモンのKANSAI戦略
 - ・くまモンの3年目

参加者数：134名

【第11回】

第11回は、ワークショップ手法の一つであるフューチャーセッション形式で開催

日 時：平成26年1月29日（火）17時30分～20時

ゲストスピーカー：特定非営利活動法人愛伝舎代表 坂本久海子氏

有限会社二軒茶屋餅角屋本店代表取締役社長 鈴木成宗氏

ファシリテーター：株式会社フューチャーセッションズ 芝池玲奈氏

テーマ：新しい三重づくりのための政策イノベーションを考える

- 内 容：
- ・塾長（知事）あいさつ
 - ・ファシリテーター趣旨説明
 - ・ペア対話
 - ・インスピレーショントーク
 - ーゲストスピーカーより話題提供
 - ・フィッシュボウル（金魚鉢）
 - ー行政、地域コミュニティ、ビジネスの視点からテーマについて対話を実施
 - ・グループ対話
 - ーフィッシュボウルを通しての気づき等を他の参加者と共有
 - ・コンセプトの立案とグルーピング
 - ー自分事を実現したい「これからの三重の政策創造のコンセプト」を検討
 - ・ブレインストーミング
 - ーコンセプトをベースに具体的な仕組みづくりのアイデアを検討
 - ・クイックプロトタイピング
 - ーバックキャストでチームの想いを「未来新聞」としてカタチに
 - ・「未来新聞」発表
 - ・塾長講評

参加者数：47名